

政策評価トピックス 第 82 号（2007 年 8 月 15 日）

・宮城県：県民満足度調査

宮城県では、「行政活動の評価に関する条例」による評価への県民参加の一環として第 6 回県民満足度調査を実施し、この度、結果を公表しました。県は、本年 3 月に県の優先施策を明らかにした「宮城の将来ビジョン」を策定しており、そのビジョンにおいては、県政運営の理念である「富県共創！活力とやすらぎの邦づくり」に沿って、33 の取組を行うこととしています。

第 6 回の調査は、県の政策をこの 33 の取組の区分で整理して、県民の満足度及び優先事項を調査し、評価の重要な情報として活用するとともに政策等の企画立案などに反映するために実施したものです。このため、第 5 回までの調査結果との比較はできない内容となっています。調査は、20 歳以上の県民 4000 人に郵送方式で回答を求め、回収率は 44.5 パーセントでした。

http://www.pref.miyagi.jp/hyoka/19mannzoku/dai6kai_mannzoku.htm

・埼玉県：ゆとりとチャンスの埼玉プラン

埼玉県では、平成 19 年度から 23 年度を計画期間とする新たな 5 か年計画「ゆとりとチャンスの埼玉プラン」を策定しており、それとともに 18 年度までの「あやの国 5 か年計画 21」政策指標の達成状況を公表しています。新たな 5 か年計画では、「埼玉安心戦略」と「分野別指標」で構成され、それぞれに数値目標として 51 の「戦略指標」及び 46 の「施策指標」を設定し、取組の成果を評価することとしています。

旧計画では、数値目標として 40 の政策指標を設けていたところ、うち県産農産物の県内消費割合等の 14 指標が 18 年度目標を達成し、一方、5 指標については計画策定時の数値を下回っています。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A02/BI00/hyoukakekka/start.htm>

・三重県：平成 18 年度目的評価表（実績）

三重県では、この度、平成 18 年度目的評価表（実績）を公表しました。この目的評価は、「県民しあわせプラン・第二次戦略計画」に基づき、施策、基本事業、事務事業を整理し、それぞれについて目的に取組結果を照らして成果や課題が何かといった視点で評価しています。

農林水産業の関係では、安心を支える力強い農林水産業の振興との政策の下、安全で安心な農産物の安定的な提供等の 7 施策、消費者ニーズに応えた農畜産物の安定供給等の 19 基本事業、家畜衛生防疫事業等の 231 事務事業について公表しています。

<http://www.pref.mie.jp/GYOUSEI/plan/jimu06k/kousei.htm>

・宮崎県：部局マニフェスト

宮崎県では、県の各部局長が「部局マニフェスト」を作成し、知事に提出しました。本年度は、本年 6 月策定の「新宮崎創造計画」を着実に推進し、新しい宮崎県作りを進めていくため、マニフェストの設定者を知事部局の 8 部長に加えて、会計管理者、企業局長、病院局長まで拡大しています。

例えば、農政水産部長は、「担い手作り」への対応、「みやざきブランドづくり」への対応、「産地づくり」への対応として、それぞれ認定農業者やブランド認証等の数値目標を掲げるとともに、「顕在化している新たな課題」への対応として、原油価格の高騰に伴う生産資材価格の上昇等への対応策を検討するとしています。

http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/somu/gyokei/manifesto/bulkyoku_manifesto_H19.html